

# 中長期の成長戦略不可欠



ASEAN+3  
ASEAN+3

東南アジア諸国連合・日  
中韓(ASEAN+3)  
の財務相会議は22日、「チ  
ェンマイ・イニシアチブ」  
の拡大で合意したが、実効

性をより高めるために越え  
るべきハードルは多い。

通貨危機時に融通できる  
ドル資金は1200億がま  
で拡大されることになった  
が、この額はタイが国の  
外貨準備高(2月6日時点  
で1100億)を少し上

回る程度だ。加盟国からは  
「サイズが小さく、完全に  
はカバーできない」「(イン  
ドネシアのムルヤニ財務  
相)との声も聞かれた。

国際通貨基金(IMF)  
とは別に独自の形で各国経  
済を監視する特設機関にし  
ても、真は像はこれからだ。

ASEAN事務局を活用す  
る案や、アジア開発銀行(A  
DB)などの国際機関内に  
設ける案などが浮上してお  
り、5月の次回会合までの  
短期間で議論が収束するめ  
どは立っていない。

ASEAN+3が危  
機対応での独立性を高める

ASEAN+3は、米中やI  
M+1からの反発も予想さ  
れ、結局は離断する恐れも  
ある。

ASEAN+3は、危機に備えた安  
全網の構築に加え、中長期  
的には世界の成長センター  
としての位置づけを回復す  
る必要がある。

これまで地域全体として  
米国の「過剰消費」に依存  
した、輸出主導の成長を果  
たしてきた。輸出の減速を  
主因に、ADBの試算では、

東南アジアの09年の国内総生  
産(GDP)成長率は5・  
7%と、07年(9%)、08  
年(6・9%)に比べ急激  
に下がる。

今後しばらくの間、米中  
の消費は低迷するところら  
れ、アジア各国は内需を拡

大する政策に重点を移さ  
ざるを得ない。

【ブーケット(タイ南部)  
財務相が欠席】22日のASEAN  
+3財務相会議で、

日本の与謝野財務・金融・  
経済相が欠席し、代理  
で末松信介財務政務官が出  
席した。

財務省の同行筋は、「一週  
明けに予算委員会が控えて  
いることを考慮すれば、欠  
席は仕方がない」と、17  
日の中川前財務・金融相の  
辞任が直接影響したわけで  
はないと釈明する。

今回の会議では、日本以  
外にもシンガポール、フィ

リピンが代理出席となっ  
た。議長を務めたタイのシ  
ン財務相は「我々は質  
代表だ。(大臣欠席による)  
悪影響はない」とかばった。  
与謝野氏の不在を詫言っ  
て問題視する声は聞かれな  
かった。

## 行動計画の骨子

- ▶ 地域経済の情勢は深刻な課題に直面。保護主義的な施策に反対。
- ▶ 通貨交換協定「チェンマイ・イニシアチブ」の拡充につき次回会合までの合意へ努力。
  - ◎ 外貨融通枠を800億ドルから1200億ドルに増額。
  - ◎ 経済情勢についての独立の地域監視機関を設立。
  - ◎ IMFの支援なしに融通できる割合を将来的に現行の20%以上へ引き上げ。
- ▶ アジア開発銀行(ADB)が地域の成長に必要な資本の供給に重要な役割を果たすと認識。